

都道府県別ナラ枯れ被害量(被害材積)の推移(総数)

(単位:千m³)

年度 区分	H25	H26	H27	H28	H29	対前年度比
青森県	—	—	—	0.1	1.2	1288%
岩手県	0.8	0.9	2.0	5.3	8.8	164%
宮城県	3.6	3.0	3.9	2.5	6.6	264%
秋田県	5.1	6.1	10.4	15.9	13.1	82%
山形県	7.7	2.8	2.4	5.1	4.5	89%
福島県	2.2	3.2	3.5	3.9	6.9	178%
群馬県	0.0	—	0.0	0.0	0.1	2533%
千葉県	—	—	—	—	0.1	皆増
神奈川県	—	—	—	—	0.2	皆増
新潟県	0.6	0.2	0.1	0.1	0.2	188%
富山県	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	22%
石川県	0.3	0.0	0.0	0.0	—	皆減
福井県	0.4	0.3	0.2	0.2	0.0	6%
長野県	1.5	1.6	0.8	0.2	0.2	72%
岐阜県	1.0	2.9	0.2	0.1	0.0	73%
静岡県	0.6	0.5	1.6	0.9	0.8	84%
愛知県	3.2	1.1	3.4	1.2	0.7	53%
三重県	0.7	0.6	0.7	1.0	1.9	205%
滋賀県	2.8	1.2	0.8	0.3	0.1	39%
京都府	11.5	3.0	2.4	2.3	1.1	48%
大阪府	2.3	3.6	12.4	5.7	3.2	57%
兵庫県	0.5	0.8	2.8	4.8	9.4	195%
奈良県	1.0	0.9	3.4	17.9	18.6	104%
和歌山県	0.1	0.2	0.4	0.2	0.4	170%
鳥取県	2.1	3.8	12.9	7.6	10.3	135%
島根県	2.3	2.3	1.3	0.8	1.0	123%
岡山県	0.1	0.2	0.5	0.8	1.4	167%
広島県	1.1	0.8	0.4	1.0	1.0	102%
山口県	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	245%
徳島県	—	—	0.1	0.1	0.0	64%
高知県	—	—	0.0	0.0	—	皆減
長崎県	—	—	—	0.2	0.2	110%
宮崎県	0.2	0.2	5.0	1.0	0.3	29%
鹿児島県	0.6	0.5	11.0	4.3	0.5	12%
合計	52.2	41.0	82.8	83.6	93.1	111%

1 民有林については、都道府県からの報告による。

2 国有林(官行造林地を含む。)については、森林管理局からの報告による。

3 都道府県ごとに小数点以下第二位を四捨五入した。

4 四捨五入により合計と一致しない場合がある。

5 被害の発生していないものを「—」、50m³未満の被害が発生しているものを「0.0」としている。